

支店だより

News from branch offices



紀の里の各地域では、季節ごとに地域性を活かした、当地ならではの催し物が開かれています。今月も、各地からの話題をお伝えします。



「ふわとろながなす」が大好評!!

JAわかやま紀の里地域本部「根来さくらの里」で8月9日～11日、「ふわとろながなす」のPRイベントを行いました。

この時期、バーベキューを楽しむ人たちも多く、ピッタリな野菜がJAわかやま紀の里地域本部岩出茄子部会の「ふわとろながなす」。大きな長ナスで、果肉がとろけるほど柔らかく甘みに富んでいるのが特徴です。

同地域本部直売課の山田課長と中宮農経済

センター吉田主任が早朝からナスを炭火で焼いて約150人の来店者に試食してもらいPRしました。

ナスは悪玉コレステロールの酸化を 방지、動脈硬化を予防し、食物繊維が豊富で、腸の働きを活発にする効果が期待できると言われています。



粉河支店

除草剤キャンペーン& 小型農機具点検会

7月25日に東宮農経済センターにて、除草剤のキャンペーンと農機施設センターによる小型農機具点検会を実施しました。

暑さ厳しい中、たくさんの組合員さんが来て、除草剤メーカーの担当者に詳しい使用方法などについて直接相談していました。また、草刈り機やチェーンソーの点検も大盛況でした。

今後も、日々農作業に取り組まれる組合員の皆様に喜んでいただけるような企画ができればと思います。



那賀支店

川中島白桃の「目揃え会」開催

7月25日、東部流通センターにて「川中島白桃の目揃え会」を開催しました。那賀管内の生産者や関係者が集まり出荷基準や品質を確認し、出荷に向けた意識を高めました。川中島白桃は大玉で果肉が締まり、糖度が高く甘みと果汁のバランスが良いのが特徴です。ビタミンCやカロテンを豊富に含み、美白効果や免疫力向上が期待できる健康果実です。

那賀桃部会の黒田部会長は「桃終盤を迎え、熱中症や感染症対策として、こまめな水分補給や手洗いがいの徹底も心掛けましょう。」と話しました。



桃山支店 桃山地区の夏の風物詩

西部流通センター前に特設された桃の直売所では、連日、桃を買い求める人達の行列ができました。開店時間の朝9時には、すでに長い行列が出来、朝6時から並んでいた方もおられました。

改めて、「あら川の桃」の人気を実感しました。

直売所は、6月20日から8月7日まで特設され、盛況のうちに終了しました。お客様からは、来年も待ち遠しいとの声が聞かれました。



打田支店 除草剤展示即売会の開催!!

7月29日、中宮農経済センターにて除草剤展示即売会を開催しました。

この展示会には各農薬メーカーの担当者も来て、生産者が直接メーカーの担当者から除草について、相談や意見交換ができる場として開きました。当日は天候にも恵まれ、多くの組合員さんにお越しいただき、暑い中ありがとうございました。



岩出支店 JA横丁の開催

7月25日岩出支店にて夏祭りイベント第10回「JA横丁」(夜店)を開催しました。

この催しは、組合員・地域住民に、日ごろの感謝を込め、親睦を図る為、年間行事として毎年開催しています。

会場には「かがやき部会」の方たちの協力と同支店職員で飲食店や子供コーナーの夜店を出店し、金魚すくいやヨーヨー釣り、最後には、子供ビンゴ大会で約1000の方が訪れ大盛り上がりで賑わいました。



貴志川支店 貴志川こども祭り開催

7月18日、貴志川支店にて「貴志川こども祭り」を開催しました。

組合員や地域の方々、たくさんの子どもたちが来場され、会場ではかがやき部会の方々が作った料理やこどもコーナーの射的、金魚すくい、ビンゴ大会など大いに盛り上がりました。

これからも貴志川支店では地域に根差した活動を行っていきます。

11月にはふれあい祭りも開催しますので、みなさんのご来場お待ちしております。

最新の農作業情報は
ホームページからご覧になれます



【組合員様専用ページを見るには】

インターネットで以下のアドレスを入力
<https://members.ja-kinosato.or.jp/>

または
JAわかやまホームページ▶組合員様専用ページ
右図と同じユーザー名とパスワードを入力して
ログインしてください。



水稲

中生・晩生種の収穫時期をむかえます。落水開始は収穫7〜10日前を目安に行ってください。

収穫適期は葉の黄化状況にかかわらず1穂に青籾率が10%（8〜10粒）残っている状態です（表1参照）

高温で急激な乾燥は「胴割米」の原因となるので注意しましょう。また、乾燥不足や乾燥直後で籾の温度が高い状態で籾すりを行うと「肌ずれ米」の原因となりますので注意してください。乾燥は最終140〜150%の範囲内を目標としてください。

表1.

品種名	収穫適期
キヌヒカリ	9月 8日〜11日
にじのきらめき	9月13日〜18日
きぬむすめ	9月20日〜27日
ヒノヒカリ	10月 1日〜 7日

※表1の「収穫適期」は6月10日に移植した場合の平均です。

表2.

品種	作型	播種時期	収穫期
七宝早生7号	早生	9月18日〜20日	5月 3日〜10日
ソニック	早生	9月22日〜25日	5月 3日〜10日
ターザン	中生	9月22日〜25日	5月17日〜27日
ターボ	中生	9月22日〜25日	5月20日〜30日
ネオアース	中晩生	9月24日〜26日	6月 5日〜15日
もみじ3号	晩生	9月27日〜29日	6月 5日〜15日

※表1の「収穫適期」は6月10日に移植した場合の平均です。

表3. 玉葱の防除例

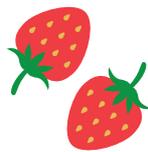
病害虫名	薬剤名	倍数	収穫前日数/回数
ハモグリバエ類	マラソン乳剤	1000倍	7日/6回
灰色かび病・白色疫病予防	オーソサイド水和剤80	600倍	前日/5回

表4. 葉菜類(キャベツ・ハクサイ・ブロッコリー)の防除例

病害虫名	薬剤名	倍数	使用時期
コナガ,アオムシ,ヨトウムシ	ベリマークSC	400倍	セルトレイ1箱に500mlかん注:育苗期後半〜定植当日
アブラムシ,コナガ,アオムシ	ミネクトデュオ粒剤	40g/セルトレイ	播種覆土後〜育苗期後半
根こぶ病	ネビジン粉剤	20〜30kg/10a	播種又は定植前:全面土壌混和
	フロソサイド粉剤	30〜40kg/10a	播種又は定植前:全面土壌混和
根こぶ病	ランマンフロアブル	500倍	セルトレイ1箱に2L:定植前日〜当日

表5. いちごの防除例

病害虫名	薬剤名	倍数	収穫前日数/回数
ダニ	アグリメック	500〜1000倍	育苗期/2回
	マイトコーネフロアブル	1000倍	前日/2回
	モベントフロアブル	500倍	育苗期後半:50ml/株 かん注:1回
炭そ病予防	ゲッター水和剤	1000倍	21日/3回
	シグナム WDG	2000倍	前日/2回
	アミスター 20フロアブル	2000倍	前日/苗床4回



葉菜類(キャベツ・ハクサイ・ブロッコリー)

1〜2月収穫の白菜の播種は、9月1〜10日頃です。根こぶ病対策を施しましょう。ヨトウムシ類の発生が多い時期のため、それぞれ登録のある農薬を使用し防除してください。

●病害虫防除
表4を参考に散布してください。

一寸そら豆

●播種時期…10月上旬〜中旬
(移植栽培は10月上旬播種↓下旬定植)
●品種…陵西一寸(りょうせいいっすん)
●種子量…10a当たり約6l
(約230粒/1l)
●播種…移植の場合は条間10cm、株間5cmの間隔に種子のオハグロを斜め下にし、軽く覆土を行う。直播きの場合は後述の定植間隔と同様に播種します。
●播種後、土壌が乾燥し過ぎないように夕方には乾く程度のかん水を行います。
●元肥(10a当たり)
バーク堆肥……………2t
苦土入りセルカ2号……………100kg
B Mリンスタール……………40kg
紀の里5号ペレット……………80kg
※省力施肥の場合は紀の里5号ペレット
: 80kgに替えて、ユートップ20号: 100kgと硫加: 10kgを元肥とする。
●定植間隔
畝幅140〜150cmに株間50〜60cmの1条植え(約110〜130株/10a)。移植の場合は本葉2〜3枚の頃に、根を傷めない様に植えつける。深植えしないように注意し、定植後は乾燥しないようかん水する。

5stars

●本年も高温のため花芽分化が遅れる可能性がありますので花芽検鏡した後に定植しましょう。

●特に、「まりひめ」を未分化定植すると開花が年明けになる場合がありますので注意しましょう。

●病害虫の防除例
表5を参考に散布してください。

●元肥
土壌診断を行った上で、紀の里1号配

合を10a当たり100kg程度施用してください。(窒素成分で5〜10kg程度)特に早出しを目的とした夜冷育苗や暗黒低温処理を行った場合、窒素成分は少なめに施用してください。元肥が多いと2番花が遅れる場合がありますので注意してください。

●葉かき

葉かきは定植20〜30日前で最終とし、定植直前に2枚程度欠き、本葉4〜5枚の苗を定植しましょう。

柑橘

●温州みかん

●樹上選別・仕上げ摘果

9月からは、みかんの樹上選果となります。樹上選果の方法としては日焼け果や極大・極小果などの規格外の果実の摘果を行ってください。早生・普通みかんは、仕上げ摘果の時期になります。小玉果や奇形果、キズ果、病害虫被害果等を中心に摘果し葉果比が20〜25(果実1果あたり葉20〜25枚)になるようにしてください。なお、着果の少ない樹や枝では、着果ストレスをかけ果実内容を向上させるために仕上げ摘果は行わず、10月以降の樹上選果で調整してください。

●中晩柑類

●かん水

中晩柑類において、今月以降はクエン酸含量が急速に減少してくる時期です。この時期に乾燥すると酸高果の要因となりますので、雨が降らない日が続く場合には十分なかん水を行いましょ。

●果皮障害対策

中晩柑では収穫時の果実の取り扱いや

表1. 防除例

作 目	防除時期	対象病害虫	薬剤名	倍 数	安全使用基準
柑 橘	9月以降 (降雨が多い 場合)	カメムシ類 チャノキイロアザミウマ	スタークル顆粒水溶剤 ナティーボフロアブル	2000倍 1500倍	前日/3回 前日/3回
		黒点病	ナティーボフロアブル	1500倍	前日/3回
レモン		黒点病	ナティーボフロアブル	1500倍	前日/3回
温州 みかん	収穫直前	青かび病・緑かび病 黒斑病・軸腐病	トップジンM水和剤 又は ベンレート水和剤	2000倍 4000倍	前日/5回 前日/4回

※ベフラン液剤の登録がなくなる為、11月1日以降 みかん・中晩柑類で使用しないこと。

表2. 施肥例

品 目	使用時期	施肥基準(10aあたり)	
八 朔	9月中下旬 (初秋肥)	マンガン・ホウ素入り高度化成 ……	40kg
		有機ユートップ668 ……………	120kg
		紀の里2号配合 ……………	80kg
		(通常施肥)紀の里化成403 ……………	40kg
レモン		(省力施肥)有機ユートップ668 ……	120kg
極早生みかん	10月中旬 (秋肥)	河北	紀の里3号配合 …………… 160kg
		河南	紀の里3号配合 …………… 140kg



凍害により、貯蔵中のヤケ果が発生しやすくなります。果皮の強化を目的に、セラルバイン(肥料用)400倍を葉面散布してください。

●病害虫防除

○黒点病

秋期に降雨が多いと感染しやすくなるため、農薬散布後から降雨が200mmを超える場合は防除を行なってください。

○収穫前の薬剤防除

腐敗果防止のために、トップジンM水和剤2000倍又はベンレート水和剤4000倍を収穫直前に散布してください。

また散布後、収穫終了まで期間が空く場合や、降雨が続く場合は再度収穫前防除を行い、高品質果実生産に努めましょ。

○褐色腐敗病

褐色腐敗病は台風や集中豪雨等による泥はねにより発病し、降雨後高温になると多発する恐れがありますので、台風通過後や激しい降雨の後には、レーバスフロアブル2000倍又はランマンフロアブル2000倍を散布してください。

落葉果樹

◎元肥の施用

今月から11月にかけて、落葉果樹類の元肥の施用時期となります。元肥は樹勢の回復、花芽の充実、翌年の初期生育に必要な貯蔵養分を蓄積するための重要な肥料です。

施肥時期が遅れると、施用した肥料が吸収されない場合があるため、遅れないように注意してください。樹勢が弱い樹については基準よりやや早めに施用しましょう。施用量や時期については、表2を参考にしてください。

●梅

●元肥の施用

9月下旬は花芽の充実と貯蔵養分の蓄積を促進させるため、元肥の施用時期となります。表2を参考に施用ましょ。

●桃

●土づくり

土づくりは土壌状態を改善し、根が育つ環境を作るために重要となります。10aあたりの基準は、完熟堆肥1〜2t(完熟堆肥の施用ができない園では、アヅミン80kg)、セルカ又は苦土セルカ2号:120kg、土壌分析結果で苦土が少ない園ではスーパーマグ:60kgを施用してください。

せん孔細菌病対策として展着剤アピオン-E 1000倍にICボルドー412、30倍を加用して散布してください。落葉初期と落葉中期に散布し、越冬病原菌の密度を減らしましょう。

表1. 品目別防除例

品目	時期	対象病虫害	薬剤名	倍数	収穫前日数/回数
スモモ	10月(落葉期)	(展着剤) 黒斑病	アピオン-E ICボルドー412	1000倍 30倍	- / - - / -
桃	9月下旬~10月中下旬(落葉中期)	(展着剤) せん孔細菌病	アピオン-E ICボルドー412	1000倍 30倍	- / - - / -
柿	10月上旬以降カメムシ発生園	カメムシ *スターフルとキップオフは同じ成分が入っているので使用回数(3回)に注意すること	スターフル顆粒水和剤	2000倍	前日/3回
キウイフルーツ	10月上中旬	(展着剤) 果実軟腐病 カメムシ類	ネオエステリン ペルクート水和剤 ダントツ水溶剤	5000倍 1000倍 2000倍	- / - 前日/5回 前日/3回
梨	9月下旬~10月中下旬	(展着剤) ハマキムシ類 コナイガラムシ類 (若齢幼虫) 黒星病	アピオン-E ICボルドー48Q ダイアジノン水和剤34	1000倍 30倍 1000倍	- / - 収穫後から開花前/ 14日/6回

●柿：
●適期収穫
着色・荷受け基準を厳守し、取り遅れないよう計画的に収穫しましょう。収穫や運搬の際、果実の取り扱いには十分注意して、果梗の長い果実は二度切りを行い、収穫かごにはマットを敷いて、果実に傷がつかないようにしましょう。
また、濡れた果実は黒変果の原因となるので、十分乾かしてから出荷してください。

表2. 品目別施肥例

品目	使用時期	肥料名	施用量(10a)
スモモ(元肥)	10月上中旬	紀の里1号配合	120kg
桃(元肥)	早生種 10月中旬(砂地園11月上旬)	紀の里1号配合	140kg
	中晩生種 10月中旬(砂地園11月中旬)	紀の里1号配合	160kg
大粒ブドウ(元肥)	無核 有核	10月中下旬	紀の里1号配合
			120kg 80kg
キウイフルーツ(元肥)	10月中下旬	紀の里2号配合	160kg
梅(元肥)	9月下旬	紀の里5号ペレット	80kg

しゃくやく
現在花芽分化期に入っています。1回目の秋肥がまだの園地では、紀の里5号ペレットを10a当たり80kg施用してください。花芽分化時期に養分が不足すると、翌年に弱小茎となります。また、新根が発生する時期です。1週間以上雨が降らず、土壌が乾燥する場合は、適宜か

花

葉ボタン
草丈を十分に確保するため適宜かん水するとともに、病虫害の発生には十分注意してください。9月に入ると比較的气温が低くなり、降雨が多くなった場合などに、黒腐病の発生が懸念されます。病原菌は雨滴のはね上がりなどにより、強風や害虫によってできた茎葉の傷口や、葉裏の気孔から感染します。害虫が発生した場合や葉かきの後、強風や大雨の後、早期に防除を行ってください。
目標の茎径になったら葉かきを行ってください。先端から20~25cmくらい葉を残しましょう。最終の葉かきは収穫15日前までに行ってください。作業は晴天の日に行いましょう。
表2を参考に防除してください。
追肥は生育状況をみながら適宜行ってください。
未 来 5 0 8 40kg / 10a

ストック
播種後2週間を目安に八重鑑別を行います。本葉2~3枚程度(播種後25日前後)で12cm間隔に定植します。定植後は適宜かん水を行い、寒冷紗等で日除けします。寒冷紗等は徐々に取り除き、定植1週間後には寒冷紗等を完全に除去

ん水を行ってください。
近年、覆土が浅く株が露出している圃場があります。根が乾燥すると、株が消耗するので覆土を行ってください。(堆肥施用を兼ねて、覆土目安は約5cmとする)
葉が黄化した後、株元から茎を刈り取りしてください。
表1を参考に防除してください。

表2. 葉ボタンの防除例

病虫害名	薬剤名	倍数	
ヨトウムシ類, コナガ	グレーシア乳剤	2000倍	
	プロフレアSC	2000~3000倍	
	ディアナSC	2500倍	
	アクセルフロアブル	1000倍	
	アニキ乳剤	1000~2000倍	
	トルネードエースDF	1000~2000倍	
黒腐病	高温時	カセット水和剤	1000倍
		キノンドーフロアブル	800倍
		ジマンダイセン水和剤	600倍
	24℃以下の時	カスミンボルドー	1000倍
		コサイド3000	1000倍

表1. しゃくやくの防除例

病虫害名	薬剤名	倍数
班葉病	ジマンダイセン水和剤	600倍
	エムダイファー水和剤	600倍
うどんこ病	パレード20フロアブル	3000倍
	シグナムWDG	1500倍



できる状態にしましょう。寒冷紗等の除去は夕方に行いましょう。シンクイムシなどの発生が懸念されるので葉ボタンの(ヨトウムシ類・コナガ)の殺虫剤を参照し、防除しましょう。



お知らせ

「2025年紀の里地域本部
ふれあいまつり」を
開催します!!

販売

柿のシーズンが到来!!

和歌山県は、日本一の柿の産地として知られています。特に有名なのは「たねなし柿」や「富有柿」。

温暖な気候と豊かな自然環境に恵まれたこの地で育った柿は、甘みが強く、果肉がやわらかくジューシーなのが特徴です。

秋の訪れとともに旬を迎える和歌山の柿は、贈答用としても非常に人気があり、全国にファンが多い逸品。ぜひ一度、わかやまが誇る極上の柿を味わってみてください。



2025 紀の里地域本部
ふれあいまつり
新たな感動を未来へ! わくわくしよう!

那賀支店	8月23日	TEL 75-3151
粉河支店	10月25日	TEL 73-3201
打田支店	12月6日	TEL 77-6950
桃山支店	11月29日	TEL 66-1133
貴志川支店	11月22日	TEL 64-2601
岩出支店	10月18日	TEL 62-3257

開催時間 9:00~16:00

営農

管内の揚水機場について

近年の猛暑と少雨による水不足は、農作物の管理に深刻な影響を与えています。被害防止に向けた技術対策としてかん水を行う為の揚水機場が管内に設置されています。干ばつ時には臨時に設置箇所を増設する場合があります、この3箇所は常時利用可能なのでご活用ください。

- ・麻生津:第5低温貯蔵庫揚水機場
- ・竜門:中央選果場揚水機場
- ・桃山:桃山支店揚水機場



購買

令和7年産新米キャンペーン!

購買部では10月1日~10月31日までの期間中、新米キャンペーンを実施します。

期間中は地場産の玄米を中心とした品目を、キャンペーン価格にて供給を行っていますので、是非ご利用ください。

また、購買部では玄米保冷库や保冷米びつ等も取扱っていますので、併せてご利用ください。詳しくは、各支店・センター・事業所の購買までお問い合わせください。



金融

団体交通・普通傷害共済 ご加入者の皆様へ

団体傷害共済の継続に関するご案内ハガキ(傷害共済契約終了のお知らせと継続のご案内)を8月下旬に郵送していますので、お手元でのご確認をお願いいたします。

ご契約内容の変更や共済金のご請求に関するご質問、ご不明な点等ございましたら、お近くの支店窓口までお気軽にお問い合わせください。